



## サポートされている構成 Cloud Volumes ONTAP

NetApp  
February 11, 2026

# 目次

サポートされている構成 .....	1
AWS でサポートされる構成 .....	1
ライセンスでサポートされている構成 .....	1
サポートされるディスクサイズ .....	3
Azure でサポートされる構成 .....	3
ライセンスでサポートされている構成 .....	3
サポートされるディスクサイズ .....	5
Google Cloud でサポートされている構成 .....	5
従量課金制の概要 .....	6
BYOL の概要 .....	6
ライセンスでサポートされている構成 .....	6
サポートされるディスクサイズ .....	7

# サポートされている構成

## AWS でサポートされる構成

Cloud Volumes ONTAP は、従量課金制とお客様所有のライセンス（BYOL）の 2 種類の料金プランで AWS で提供されています。従量課金制の場合は、Explore、Standard、Premium の 3 つの構成から選択できます。

## ライセンスでサポートされている構成

Cloud Volumes ONTAP は、フォールトトレランスとノンストップオペレーションを実現するために、AWS ではシングルノードシステムとして、ハイアベイラビリティ（HA）ペアのノードとして利用できます。

シングルノードシステムの HA ペアへのアップグレードはサポートされていません。シングルノードシステムと HA ペアを切り替える場合は、新しいシステムを導入し、既存のシステムから新しいシステムにデータをレプリケートする必要があります。

	調査	標準	Premium サービス	BYOL
サポートされている EC2 インスタンスタイプ <sup>^1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• m4.xlarge</li> <li>• m5.xlarge のように指定します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• m4.2xlarge</li> <li>• m5.2xlarge</li> <li>• R4.xlarge ( R4.xlarge )</li> <li>• R5.xlarge ( R5.xlarge )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• c4.4xlarge</li> <li>• c4.8xlarge を使用する場合</li> <li>• c5.9xlarge のサイズ</li> <li>• c5.18 x ラージ</li> <li>• c5d.csi<sup>2</sup></li> <li>• c5d.9xlarge<sup>2</sup></li> <li>• c5d.18 x ラージ<sup>^2、3^</sup></li> <li>• m4.mc</li> <li>• m5.mc</li> <li>• m5d.8xlarge<sup>^2、3^</sup></li> <li>• r4.2xlarge</li> <li>• r5.2xlarge</li> <li>• r5d.2xlarge<sup>2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• c4.4xlarge</li> <li>• c4.8xlarge を使用する場合</li> <li>• c5.9xlarge のサイズ</li> <li>• c5.18 x ラージ</li> <li>• c5d.csi<sup>2</sup></li> <li>• c5d.9xlarge<sup>2</sup></li> <li>• c5d.18 x ラージ<sup>^2、3^</sup></li> <li>• m4.xlarge</li> <li>• m4.2xlarge</li> <li>• m4.mc</li> <li>• m5.xlarge のように指定します</li> <li>• m5.2xlarge</li> <li>• m5.mc</li> <li>• m5d.8xlarge<sup>^2、3^</sup></li> <li>• R4.xlarge ( R4.xlarge )</li> <li>• r4.2xlarge</li> <li>• R5.xlarge ( R5.xlarge )</li> <li>• r5.2xlarge</li> <li>• r5d.2xlarge<sup>2</sup></li> </ul>
サポートされている ディスクタイプ <sup>4</sup>	汎用 SSD ( gp2 ) <sup>5</sup> 、プロビジョニングされた IOPS SSD ( io1 )、スループット最適化 HDD ( st1 )			
S3 へのコールドデータ階層化	サポート対象外	サポートされます		
最大システム容量 ( ディスク + オブジェクトストレージ )	2TiB	10TiB	368TiB <sup>5</sup>	ライセンスあたり 368 TiB <sup>5</sup>

注：

1. EC2 インスタンスタイプを選択する場合は、そのインスタンスが共有インスタンスか専用インスタンスかを指定できます。
2. これらのインスタンスタイプには、Cloud Volumes ONTAP が Flash Cache として使用するローカル NVMe ストレージが含まれます。Flash Cache は、最近読み取られたユーザーデータとネットアップのメタ

データをリアルタイムでインテリジェントにキャッシングすることで、データへのアクセスを高速化します。データベース、Eメール、ファイルサービスなど、ランダムリードが大量に発生するワークロードに効果的です。Flash Cacheのパフォーマンス向上を利用するには、すべてのボリュームで圧縮を無効にする必要があります。["詳細はこちら。"](#)

- Cloud Volumes ONTAP 9.6 P3 以降では、c5d.18 x large および m5d.8xlarge がサポートされます。
- SSD を Cloud Volumes ONTAP Standard、Premium、および BYOL とともに使用すると、書き込みパフォーマンスが向上します。
- GP3 SSD はサポートされていません。
- 一部の HA 構成では、ディスク制限により、ディスクのみを使用して 368 TiB の容量制限に達することができません。このような場合は、で 368 TiB の容量制限に達することができます ["使用頻度の低いデータをオブジェクトストレージに階層化します"](#)。ディスクの制限については、を参照してください ["ストレージの制限"](#)。
- AWSリージョンのサポートについては、を参照してください ["Cloud Volume グローバルリージョン"](#)。

## サポートされるディスクサイズ

AWS では、アグリゲートに同じタイプおよびサイズのディスクを最大 6 本含めることができます。

汎用 SSDs (gp2)	プロビジョニングされた IOPS - SSDs (io1)	スループット最適化 HDDs (st1)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 100GiB</li> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1TiB</li> <li>• 2TiB</li> <li>• 4TiB 未満</li> <li>• 6TiB</li> <li>• 8TiB</li> <li>• 16TiB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 100GiB</li> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1TiB</li> <li>• 2TiB</li> <li>• 4TiB 未満</li> <li>• 6TiB</li> <li>• 8TiB</li> <li>• 16TiB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1TiB</li> <li>• 2TiB</li> <li>• 4TiB 未満</li> <li>• 6TiB</li> <li>• 8TiB</li> <li>• 16TiB</li> </ul>

## Azure でサポートされる構成

Cloud Volumes ONTAP は、従量課金制とお客様所有のライセンス (BYOL) の 2 種類の料金プランで Azure で提供されています。従量課金制の場合は、Explore、Standard、Premium の 3 つの構成から選択できます。

### ライセンスでサポートされている構成

Cloud Volumes ONTAP は、フォールトトレランスとノンストップオペレーションを実現するために、Azure ではシングルノードシステムとして、ハイアベイラビリティ (HA) ペアのノードとして使用できます。

シングルノードシステムの HA ペアへのアップグレードはサポートされていません。シングルノードシステムと HA ペアを切り替える場合は、新しいシステムを導入し、既存のシステムから新しいシステムにデータをレプリケートする必要があります。

## シングルノードシステム

Cloud Volumes ONTAP をシングルノードシステムとして Azure に導入する場合は、次の構成から選択できます。

	調査	標準	Premium サービス	BYOL
サポートされる仮想マシンタイプ	DS3_v2 の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>DS4_v2</li> <li>DS13_v2 の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DS5_v2 の場合</li> <li>DS14_v2</li> <li>DS15_v2 の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DS3_v2 の場合</li> <li>DS4_v2</li> <li>DS5_v2 の場合</li> <li>DS13_v2 の場合</li> <li>DS14_v2</li> <li>DS15_v2 の場合</li> </ul>
サポートされているディスクタイプ <sup>^1</sup>	標準 HDD 管理ディスク、標準 SSD 管理ディスク、およびプレミアム SSD 管理ディスク			
<b>BLOB</b> ストレージへのコールドデータ階層化	サポート対象外	サポートされます		
最大システム容量 (ディスク + オブジェクトストレージ)	2TiB	10TiB	368TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

注：

1. 拡張書き込みパフォーマンスは、SSD を使用している場合は有効になりますが、DS3\_v2 仮想マシンタイプを使用している場合は有効になりません。
2. Azure リージョンのサポートについては、を参照してください "[Cloud Volume グローバルリージョン](#)"。

## HA ペア

Azure で Cloud Volumes ONTAP を HA ペアとして導入する場合は、次の構成から選択できます。

	調査	標準	Premium サービス	BYOL
サポートされる仮想マシンタイプ	サポート対象外	<ul style="list-style-type: none"> <li>DS4_v2</li> <li>DS13_v2 の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DS5_v2 の場合</li> <li>DS14_v2</li> <li>DS15_v2 の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DS4_v2</li> <li>DS5_v2 の場合</li> <li>DS13_v2 の場合</li> <li>DS14_v2</li> <li>DS15_v2 の場合</li> </ul>
サポートされているディスクタイプ	サポート対象外	プレミアムページブロブ		
<b>BLOB</b> ストレージへのコールドデータの階層化 <sup>2</sup>	サポート対象外	サポートされます		

	調査	標準	Premium サービス	BYOL
最大システム容量 (ディスク + オブジェクトストレージ)	サポート対象外	10TiB	368TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

注：

1. Azureリージョンのサポートについては、を参照してください "[Cloud Volume グローバルリージョン](#)".

## サポートされるディスクサイズ

Azure では、アグリゲートに同じタイプおよびサイズのディスクを 12 本まで含めることができます。

### シングルノードシステム

シングルノードシステムで Azure Managed Disks を使用している。次のディスクサイズがサポートされています。

Premium SSD の場合	標準 SSD	標準的な HDD
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1TiB</li> <li>• 2TiB</li> <li>• 4TiB 未満</li> <li>• 8TiB</li> <li>• 16TiB</li> <li>• 32TiB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 100GiB</li> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1TiB</li> <li>• 2TiB</li> <li>• 4TiB 未満</li> <li>• 8TiB</li> <li>• 16TiB</li> <li>• 32TiB</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 100GiB</li> <li>• 500 GiB</li> <li>• 1TiB</li> <li>• 2TiB</li> <li>• 4TiB 未満</li> <li>• 8TiB</li> <li>• 16TiB</li> <li>• 32TiB</li> </ul>

### HA ペア

HA ペアでは、Premium ページ BLOB を使用します。次のディスクサイズがサポートされています。

- 500 GiB
- 1TiB
- 2TiB
- 4TiB 未満
- 8TiB

## Google Cloud でサポートされている構成

Cloud Volumes ONTAP は、シングルノードシステムとして Google Cloud Platform で利用できます。従量課金制とお客様所有のライセンス (BYOL) の 2 種類の料金プランがあります。

## 従量課金制の概要

- Cloud Volumes ONTAP には、Explore、Standard、Premium の 3 種類のライセンスオプションがあります。
- Google Cloud に初めて導入する Cloud Volumes ONTAP システムでは、30 日間の無償トライアルを利用できます。
  - 時間単位のソフトウェア料金は発生しませんが、Google Cloud インフラストラクチャの料金が適用されます（コンピューティング、ストレージ、ネットワーク）。
  - 無料トライアルが終了すると、選択したライセンスに従って 1 時間ごとに請求されます。"[購読している限り](#)"。購読していない場合は、システムがシャットダウンします。
- PAYGO から BYOL への変換は現在サポートされていません。
- 基本的なテクニカルサポートが提供されますが、ご使用のシステムに関連付けられたネットアップのシリアル番号を登録して有効化する必要があります。

["Cloud Manager で従量課金制システムを登録"](#)

## BYOL の概要

- 12 カ月、24 カ月などの期間ベースのサブスクリプションオプションが設定されたシングルノードライセンス。
- サブスクリプション期間中はサポートが含まれます。
- Cloud Volumes ONTAP BYOL システムでは、複数のライセンスを購入して、368 TB を超える容量を割り当てることができます。

たとえば、2 つのライセンスを購入して、Cloud Volumes ONTAP に最大 736TB の容量を割り当てることができます。また、4 つのライセンスを購入して、最大 1.4 PiB までライセンスを取得することもできます。

## ライセンスでサポートされている構成

Cloud Volumes ONTAP は、シングルノードシステムとして Google Cloud Platform で利用できます。

	調査	標準	Premium サービス	BYOL
サポートされているマシンタイプ <sup>1</sup>	custom-4-16384	N1-standard-8	N1-standard-32	<ul style="list-style-type: none"><li>• custom-4-16384</li><li>• N1-standard-8</li><li>• N1-standard-32</li></ul>
サポートされているディスクタイプ <sup>2</sup>	ゾーン型永続ディスク（SSD と標準）			
オブジェクトストレージへのコールドデータの階層化	サポート対象外	サポートされます		

	調査	標準	Premium サービス	BYOL
最大システム容量 (ディスク + オブジェクトストレージ)	2TB	10 TB	368 TB <sup>3</sup>	ライセンスあたり 368 TB <sup>3</sup>

注：

1. カスタムマシンタイプには、vCPU 4 個と 16GB のメモリがあります。標準マシンタイプの詳細については、[を参照してください "Google Cloud のドキュメント：「 Machine Types」](#)。
2. SSD の使用時には書き込みパフォーマンスの向上が実現します。
3. ディスク制限を使用すると、ディスクだけを使用して 368 TB の容量制限に達することができません。を使用すると、368 TB の容量制限に達することができます ["使用頻度の低いデータをオブジェクトストレージに階層化します"](#)。

["Google Cloud のディスク制限について詳しくは、こちらをご覧ください"](#)。

4. Google Cloud Platformリージョンのサポートについては、[を参照してください "Cloud Volume グローバルリージョン"](#)。

## サポートされるディスクサイズ

Google Cloud では、アグリゲートに同じタイプとサイズのディスクを 6 本まで含めることができます。次のディスクサイズがサポートされています。

- 100 GB
- 500 GB
- 1 TB
- 2TB
- 4 TB
- 8 TB
- 16 TB

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。